

Re&Go[®] 容器のシェアリングサービスとは

容器のシェアリングサービス Re&Go は「容器を捨てずに返すからゴミが出ない」サービスを通じて、ゴミの排出ゼロはもちろんのこと、多種多様な事業者をつなぎ、持続可能な社会の実現に貢献します。

現在は、Re&Go cupを展開中
(テイクアウトなどに使用する使い捨てカップの代替サービス)



サービス特徴



加盟店であれば
どこでも利用・返却可能

容器はそのまま
最寄りの店舗で返却可能



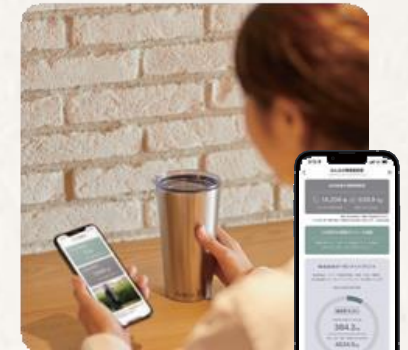
容器はシンプルで
機能的

保温保冷ができる容器で、
使い捨て容器にはない
機能性を提供



衛生管理された
清潔な容器

Re&Go衛生基準を
満たした施設で洗浄



環境への貢献度を
公開

使い捨て容器・CO2排出
削減量をLINEで確認可能

Re&Go cupサービスについて

Re&Go cupサービスは、街中で気軽にリユースカップを使える仕組みを提供します。

ユーザーはLINEを利用して、カップの利用登録や環境貢献度の確認が可能

店舗は特別なシステムが不要で、使い捨てカップの代わりにリユースカップが利用可能
(加盟店舗であればどこでも返却可能)

輸送・洗浄パートナーを地域ごとに委託することで、地域経済活性化に貢献する。
将来的に、各パートナーの空きリソース(人員・設備)を有効活用できる仕組みを構築する



実施中のRe&Go cup東京都内実証実験



2022.9.28 現在

現在、丸の内・渋谷周辺エリアの加盟店36店舗にてRe&Go cupの実証実験を実施中。

加盟店舗・協力パートナー・ユーザーからのフィードバックを元に、UI/UXや容器などの改善を進めている。

実績



Re&Go ユーザー登録数

8,907名



容器を借りる
Container Rental

総利用数

28,208個



容器を返却
Drop - Off

期限内返却率

98%



お店を探す
Find a Shop

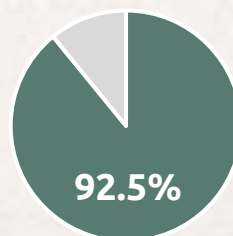
利用店舗数

36店舗

アンケート結果 (9月実施)

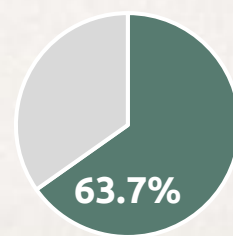
回答数 **683名**

「今後も利用したいか？」



積極的に/機会があれば使いたい

「使い方は簡単か？」



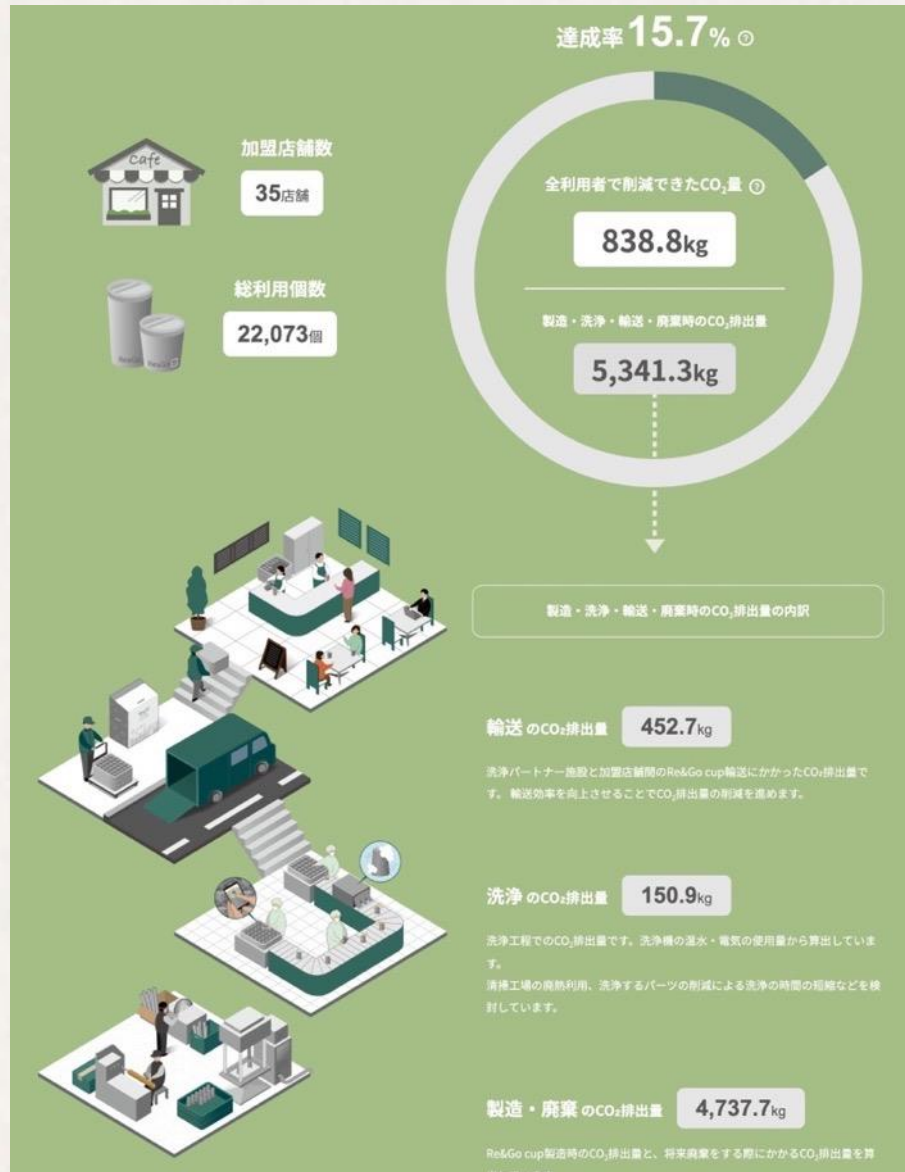
簡単・やや簡単

実証実験を通じて、ユーザーに対しての**サービス利用継続の見込み**を確認できた。

(利用者のリピーター率が高い)

「使い方が難しい」と回答があった箇所については修正し改善を進めている。

Re&Goの環境貢献度



「使い捨てカップ削減数」「CO₂排出量」の情報を、一般ユーザーにも公開中。

- プラスチック / 紙の使い捨て容器ゴミの削減だけでなく、CO₂排出量の削減という観点でもユーザーの気付き・きっかけとなるようなサービスを目指す。
- LCA（ライフサイクルアセスメント）により、利用数や輸送/洗浄頻度などの情報からCO₂排出相当量を算出。
- 数値を企業などにも公開し、共感いただく店舗の利用増加を進める。

*Re&Goウェブサイト(カーボンフットプリント)より引用
<https://www.reandgo.jp/lca/>

今後の展開

大きく4つの分野を中心にサービス・オペレーションの構築を進める。
各分野へ展開するため、東京都・他自治体とも連携を行い**2023年に事業化**を目指す。



飲食のテイクアウトで利用がしやすい
サービスを実証実験の中で検証中



飲食とは異なる利用形態である
コンビニでの最適なサービスを構築中



複合商業施設の施設
での検証を準備中

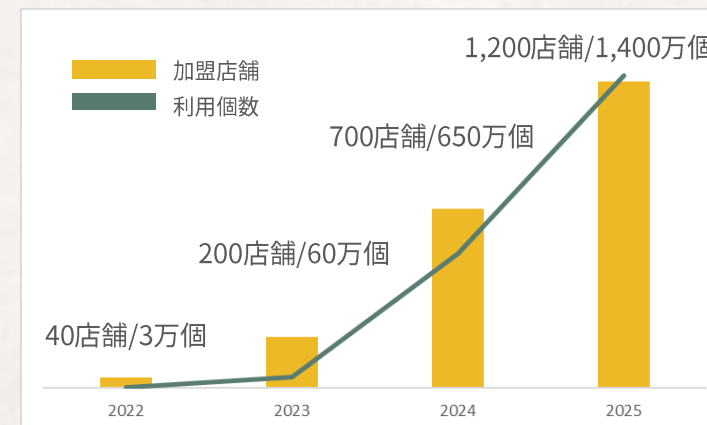


オフィス・大学の閉鎖商圏での
検証に向けて調整中

2025年の数値目標：

「**利用数：1,400万個**」 「**加盟店舗：1,200店舗**」

丸の内・渋谷周辺エリアから東京全域へ。
名古屋・京都・大阪・広島・福岡などの都市へも拡大を進める。



Re&Go運営体制

NISSHA



<https://www.nissha.com/>

Re&Go サービス構想
容器などハードウェアに関する開発・調達

循環型社会への貢献のため、
社会課題の解決につながる新規事業の創出を行う

サステナブル資材 **NISSHA ecosense**



×

NEC

NECソリューションイノベータ



<https://www.nec-solutioninnovators.co.jp/>

Re&Goサービス構想
システムなどソフトウェアに関する開発

NECソリューションイノベータは、
NECグループの社会価値創造をICTで担う中核会社です

新たな価値を創造するために注力する分野

ヘルスケア



ワークスタイル



スマートシティ

